



築上町社会福祉協議会

No.73
2020(令和2年).10.1

社協だより



子ども食堂 サプライズ花火

8/28 金

椎田中学校にて打ち上げました



この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成しました。

築上町社会福祉法人連絡会の の取り組みについて

築上町社会福祉法人連絡会が昨年11月に設立し、今年度は新たな活動を始めようとしています。

地域の福祉課題への対応に築上町社会福祉法人連絡会、ならびに他機関との連携で寄りたいと考えています。具体的には、子育て世代の貧困問題やひとり親家庭の増加、不登校生徒児童の増加、高齢者の外出支援、新型コロナウイルスの影響による雇止による生活困窮者等の問題があります。

そこで、フードロスの観点から子ども食堂や子ども宅食に各法人や他機関から余剰食材の提供を受け、ひとり親家庭等の個別支援を

通じて、不登校、引きこもりの対応ツールとして法人の特性を生かしてのボランティアや就職体験の受入れ、各法人分野での子育て相談、障がいの相談、介護の相談等、包括的なワンストップ相談の拠点づくりを目指していきます。さらにはSNSを活用して、求人情報の発信や各法人の相談員による相談員部会の設立を行い、各法人でどのような相談を受けているのかや相談員同士の情報交換ができる場を作る等、築上町社会福祉法人連絡会として地域に貢献していきます、他機関との連携の強化、協体制の構築に寄与していきます。

(事務局)

ふるさと回想 「ふるさとの四季と恩師と友」

元小学校教師 幸野 博文（島根県在住 77歳）

ふるさとを離れて55年目を迎えました。年齢を重ねると共に「ふるさとは遠き」にありて思うもの」の歌を口ずさむことと、ふるさとの「あの頃・あの時」を思い浮かべることが多くなったことを感じています。

高校時代よく観音山の中腹にある岩の上に座って眺めた風景。

寒田に生まれ椎田の海へと澄み切った水をたたえて流れ行く城井川。

右手には今は無き一本松。左手には母校下城井小学校の学舎。間には、共に遊んだ友の家々や育てて下さったおじいちゃん、おばあちゃんの家々を囲むように広がる田んぼ。

春は、れんげ草畑・菜の花畑・麦畑。空には舞い上がり急降下を繰り返しながらさえずるヒバリ。

初夏、鏡のような水田に緑の苗が点々と広がる田植えあと。黄金の稲穂をなびかせる夏。

晩秋、稲刈り・収穫が終わった後の田んぼから夕日を背に立ち昇る幾筋もの白い煙。

冬、粉雪舞うなか母と麦を踏んだ麦畑。

目を閉じると鮮やかに浮かぶふるさとの四季。美しい四季の移り変わる畦道を道草をしなから小学校に通いました。

不思議なことに「ふるさと回想」を書くように誘われた数日前に何処で見つけたのか、私の通知簿を持って来て「処分してもよいか」と聞く妻に「もう一度見て私が処分する」と言いつけて見ると、ほとんどの学年で「落ち着きがない」「忍耐力がない」「ないない」「つくしで「多い」とあるのは「私語が多い」「忘れ物が多い」の所見でした。

私が恩師と尊敬し私の38年間の教師生活を支えて下さった4・5年生担任の鬼頭先生の所見には「努力が不足」「日本人としてやる時はやる心を定めておくこと」とありました。また先生は学習中私語が多く、外ばかり見ている私の机を先生の竹の指示棒が届く先生の机の前に決めました。

こんな私でしたが、先生は先の「ふるさと回想」の筆者加来勝己氏と数人の友と共に先生の宿直の夜、宿直室で勉強を教えて下さいました。

最初の頃、私の成績が確か40数名のクラスの中で後ろから数えて数番目であることを知らされたこと。

降り続く雨を見ながら「今夜は宿直室へ行かなくてよい」と思っていたら、雨のなか傘をさし長靴をはき濡れながら迎えに来てくれた友のあとを暗い畦道を宿直室に行ったあの夜のこと。おやつに頂いたリンゴが甘かったこと。

夏休み近所のおばちゃんが川岸で洗濯をしているのを見て、ギザギザの所を竹を並べて作ってみた洗濯板に先生が「改良洗濯板」と名付けて作品展に出品して下さい一等賞を頂いたこと。

学年末には努力賞も頂くなど先生との思い出は泉が湧くごとく尽きることはありません。「大阪からは島根は遠い」と言いながら会いに来てくれる教え子や近況報告と共に私の安否を気遣ってくれる教え子に恵まれて今あることは、優しいふるさとや恩師や友の中で育つたからだと感謝しています。

ふるさとの幸せを祈り思い出を終わります。

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。
また、歳末たすけあい募金も同時に取り組んでいます。
ご協力をお願いします。

赤い羽根募金、歳末たすけあい募金のつかいみち

募金の配分金を受け、社会福祉協議会で実施している事業の一部をご紹介します。

高齢者等見守り事業

地域に暮らすひとり暮らしの高齢者の方や援助を必要としている方を対象に「見守り協力員」がチームで訪問し、見守り・孤独解消・自立支援などを基本に様々な援助活動をしています。

新入園児黄色い帽子の贈呈

交通安全を願って町内全園の新入園児に黄色い帽子を贈呈しています。



子ども食堂

子どもたちの「食」を地域で支えあいながら誰もが気軽に立ち寄れて、食を通じてふれあうことのできる場として、子ども食堂を開催しています。

毎月第2、第4金曜日
16:00~19:00

心配ごと相談

日常生活上の悩み、家庭内の問題、財産相続問題などに助言、アドバイスを行う心配ごと相談を開設しています。

毎週水曜日
9:30~15:00



おせち料理・歳末見舞金の配布

暖かくお正月を迎えていただけるように、町内の要援護世帯、1人暮らし高齢者世帯におせち料理・お見舞金を送っています。



災害時にも赤い羽根 共同募金は使われています

近年発生が増えている大規模災害の備えとして「災害等準備金」として積み立て、災害が起こった際の「災害ボランティア活動支援」など被災地を応援するためにも使われています。



広報部会 より

第27回 「自愛の家」夏期学童保育



夏休み期間中の子どもたちの安全。保護者のあんしん、ボランティアの育成を目的に低学年児童を対象として開催しています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で変則的な夏休みとなり、8日間の短い開催でしたが、短いながらも充実したカリキュラムをとる思いで、船迫窯跡公園での勾玉づくり、築上町国際交流員リアンクリスティアンセンさん。通訳の大谷純子さんをお招きして、オーストラリア

の文化、風習のレクチャー、等々行いました。

参加した子どもたちは学校、学年も異なり、初日は緊張気味でしたが、すぐに打ち解け仲良く過ごすことができました。

この学童保育も、早いもので27年目となり、当時参加の子どもたちが親になり、二世代にわたり参加してくださる方も多数おられ主催者としては、この上ない喜びを感じています。



寄付金のお礼

築上町社会福祉協議会に次の方々よりご寄付をいただきました。ご芳情に対して厚くお礼申し上げます。
 この浄財は、社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。
 なお、社会福祉協議会へご寄付された場合は、所得税の控除対象となります。
 (令和2年6月20日～令和2年9月18日受付分まで掲載)

香典返し

◆椎田地区

- 〔湊南〕吉川 敦史様(亡父 慶治様)
- 〔椎田西〕上野 百代様(亡夫 紘正様)
- 〔白田〕長部 静枝様(亡夫 末義様)
- 〔椎田南〕弘吉 洋一様(亡母 ユキエ様)
- 〔西高塚〕大平 壽彦様(亡義母 江本シズエ様)
- 〔東高塚〕武道 和宏様(亡母 ヨシ子様)
- 〔宇留津〕吉田 綾子様(亡夫 敏明様)
- 吉田 靖典様(亡母 綾子様)
- 井上 照美様(亡夫 浩二様)
- 増田 吉則様(亡母 エス子様)
- 井上 英美様(亡夫 和重様)
- 〔今津〕山上 桂子様(亡夫 清明様)
- 〔西八田〕森山 テル子様(亡夫 由信様)
- 〔上岩丸〕中江 桂子様(亡夫 西坂年枝様)
- 〔下岩丸〕尾崎 信隆様(亡妻 ヒサ子様)
- 白川 佐代子様(亡夫 吉隆様)
- 〔永原〕寺尾 律子様(亡夫 光祥様)
- 〔越路〕長尾 文子様(亡夫 末夫様)
- 〔小原〕川内 祐子様(亡母 上田ミチ子様)
- 〔福間〕森林 茂雄様(亡妻 サチ子様)
- ◆築城地区
- 〔下香楽〕則松 弘造様(亡妻 節子様)
- 〔安武第二〕元島 信一様(亡母 ケイ子様)
- 〔安武第四〕小野 登美子様(亡夫 速水様)

ちくじょう子ども食堂へ食材等のご寄付をいただきました

(令和2年6月20日～9月18日受付分まで掲載)

- ・有延 靖世様
- ・金澤 京子様
- ・中原 志津江様
- ・加来 巳敏様
- ・椎葉 千亜紀様
- ・北代 芳松様
- ・川上 幸子様
- ・黒田 源吾様
- ・平野 真美様
- ・井上 俊明様
- ・安部味噌製造所様
- ・結の石窯パン 様
- ・ワークランドこすもす 様
- ・赤松ファーム様
- ・メタセの杜 様
- ・山口園様
- ・べじたぶる よしだ 様
- ・匿名希望 4名様

一般寄付

- 築上町食生活改善推進会様
- 築上町母子寡婦福祉会様
- 南別府公民館様

- 〔下小山田〕深田 一義様(亡妻 和枝様)
- 〔上築城〕壽崎 知恵様(亡夫 延廣様)
- 金澤 京子様(亡夫 幸英様)
- 〔東築城〕繁永 多恵子様(亡夫 代三様)
- 〔下別府〕長濱 達彦様(亡妻 カズ子様)
- 長濱 康彦様(亡父 達彦様)
- 大森 信幸様(亡母 ミチエ様)

フードバンクにご協力いただきました

～ひとり親家庭への食品支援～

社協では、18歳未満のお子様を扶養しているひとり親家庭の方へ食品等配布の支援を行っています。



今回で第4回目となりました。そして、今回はこの活動に賛同して頂けることになった築上町商工会女性部、築上町法人連絡会(青海山荘さん、愛翠苑さん、ピアハートさん)、福岡県セブンイレブンジャパンさんから多数の食材を提供して頂きました。今後はコロナ禍で困っている世帯の方への支援等行えればと考えています。





知らんやった！地域は宝の山やあ〜ん



連絡先：築上町社会福祉協議会 56-2223
(生活支援コーディネーター 山口)

あけびの会（上り松）

朝晩は冷え込みますが、過ごしやすい日が続きますね。マスクには慣れましたか？

特に高齢の方は、戸外に出る時はマスクをしないといけないので出不精になり、足がふらつきだしたという声を聞きます。

今回は、上り松自治会長さんから、あけびの会の事を教えていただき活動に伺いました。

あけびの会は、平成28年に発足した会で、上り松を活性化したいという気持ちから地域に声掛けしたところ、60代～70代、11人が集まったグループです。

高齢者と子供達との食事会や夏祭りをし、文化祭、敬老会では会員が練習をして衣装も自前で余興を披露しています。最近では、あけびの会の活動資金として地域有志の方々にアルミ缶集めに協力して頂いています。

年間計画を立てて、コケ玉作り、七夕飾り、クリスマスのリース作りなど行っています。今年は新型コロナの影響で行事の中止が続き残念な思いをしています。早く以前のように再開し活動できることを願う日々です。



軒下おしゃべりサロン（石堂）



毎週、ご近所数人で宅配のグループ配をされており、配達に来る頃、一人、二人と集まってきます。グループの家の軒下に集まり品物が届くのを待っています。トラックが到着するも動きがよく坂道を何度も上り下りして品物を軒下まで運んでいる姿は若々しさを感じました。その日に持ち帰る品物がおしゃべりのおやつになることも。品物を受け取ってから数時間はおしゃべりが止まらず、夫や子供たちのことやテレビで見たことを議論していて社会情勢を把握していました。用事で取りに来られない人には、お互いに届けてあげたりして支えあっています。

暑かった夏も終わり、秋になり少しはしのぎやすくなってきましたが、今年の夏は、新型コロナウイルス感染症、熱中症などが猛威をふるい、これまでの生活様式を変えなくてはならなくなりました。学校では、夏休みが短縮され、外で思い切り遊ぶことができない日々が続き、子どもたちも寂しそうでした。又、社協でもいろいろな行事のほとんどが中止になりました。少しでも早く、新型コロナウイルス感染症のワクチンが開発され、いつもの日常生活を取り戻し、社協のイベント、講演会、勉強会などで、皆さんと御一緒できたらと思います。

編集後記
広報部会
吉田 富美代